

一般質問通告書

受領日時 令和 7年 11月 25日 午後1時7分

11番 氏名 斎藤 晋

質問項目	質問の要旨
1 熊対策について	<p>熊の出没が、例年になく多く、被害も多数出ている。町民の生活にも大きな影を落としている。又、商店・飲食店にも大きな損失を与えている。</p> <p>(1) 熊による、被害状況を。人的被害・物的被害・農林業の被害について、詳細を。</p> <p>(2) 熊の生息状況の把握はしているのか。国・県では把握しているのか。</p> <p>(3) 町民は、外出を控え、熊との遭遇を怖がっている。少しでも熊との遭遇を減らすために、町民に熊の出没状況を詳細に知らせるべきである。広報車・防災無線などの他、町民に広く・詳しく知らせる方法はないか。(エリアメールとか)</p> <p>(4) 熊の出没は、来年の春又来年の秋冬も続く。町としての熊による被害を防ぐための対策は有るのか。</p> <p>(5) 熊対策は、駆除だけではなく、農林業にも大きく関わる問題がある。杉だけの山・耕作放棄地・空き家・空地の草刈りなど多くの問題をはらんでいる。上記対策と重なる部分が有るが、回答を(宅地の栗・柿などの伐採にも補助をなどの対策は有るか)。</p>
2 町の猟友会について	<p>熊が出た一猟友会、檻の設置一猟友会、檻の見回り一猟友会、檻に入った熊の駆除一猟友会、駆除した熊の処理一猟友会など、すべて、猟友会に頼っているのが現状である。猟友会の方々も悲鳴を上げている状況と思う。少しの補助金を出しているが、猟友会の方々の善意・使命感に頼っている状況と思う。ボランティアに頼らなければ、今の状況を打開できない状況である。</p> <p>(1) 町の猟友会の人数は何人、その内実際に活動できるのは何人か。</p>

	<p>(2) 猟友会へ国・県・町からの補助金・報酬など支払われるすべてについて項目と金額を。又、檻を作るなど熊対策に対する国・県・町からの補助金などあると思うが幾らか。(項目と金額を) *町独自でも、補助金など金額を増やすとか、町の季節職員として雇用するとか、ボランティアに頼らない方策は無いのか。</p> <p>(3) 国の政策で、自衛隊・警察などが、檻の設置・駆除・処理などが報道に出たが、五城目町では何かあるか。</p> <p>(4) 国では急遽、自衛隊・警察などの派遣を決めたが、熊対策は本年だけではない。来年・来年以降についてはどうなのか。</p> <p>(5) 町長は、災害に強い町を作るを強調しているが、今は「熊災害」である。この災害に対し、町長の思い・意気込みを聞かせて欲しい、町民の安全・安心のため。</p>
3 町村議会議員の報酬について	<p>(1) 全国市町村議会議長会において、町村議会議員の報酬増が採択されたが、県議会議員・市議会議員の報酬と比べて当町議会議員の報酬は多いのか少ないのか、町としての見解を(県議会議員の報酬・各市の市議会議員の報酬を例に解答を)</p>